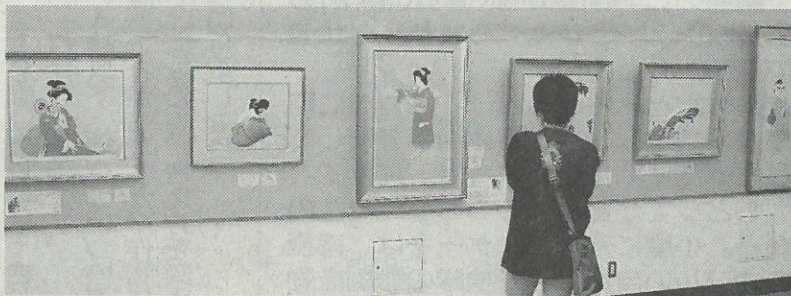


りんとした美人画など

上村松園・松篁・淳之作品展

周 南

日本を代表する美人画の巨匠、上村松園とその子、孫の松篁、淳之の作品展が15日、周南市徳山の市文化会館で始まった。作品を所蔵するほろぶエーアンドアイ(市原清人社長)の主催。18日まで。上村松園は女性初の文化勲章受章者。代表作で、理想の女性の姿を描いた「序の舞」や「牡丹雪」、花鳥画を描き続けた上村松篁、「鳥の日本画家」と呼ばれている上村淳之の版画作品44点を展示販売



周南市文化会館で開かれている「上村松園版画展 松篁・淳之三代展」=15日、周南市

上村松園らの版画展

周南ですすまで子、孫の作品も



上村松園らの版画が並ぶ会場

た「序の舞」のほか、上村の子の松篁、孫の淳之の花鳥画の版画約70点が並んでいる。

主催する絵画展企画会社「ほろぶエーアンドアイ」(大阪府枚方市)代表の市原清人さんは「独自の画風を築き上げた親子3代の作品を楽しんでもらいたい」と話している。

売り上げの一部は東日本大震災で被災した子どもたちの就学支援に充てられる。

入場無料。展示時間は午前10時〜午後6時。18日は同5時まで。問い合わせは市原さん(090・8649・0405)まで。

女性で初めて文化勲章を受章した日本画家の上村松園(1875〜1949年)らの版画の展示・販売会が、周南市文化会館で開かれている。18日まで。上村は明治から昭和にかけて、女性のしなやかさや着物の柄の美しさを繊細に表現した美人画で高い評価を得た。会場には、雪が降る中、傘をさしている着物姿の女性を題材にした「牡丹雪」や能の練習風景を描い